

3・13重税反対統一行動 10%増税断固中止を！

消費税8%になって初の確定申告。全国で560カ所、東京では38カ所8千5百人が集団申告。5%の時と8%になってからと2重の申告が必要で複雑。8%の重税感が身に迫り、「一度に払えない」「商売たたむしかない」「10%なんてどこから出てくるのか！」「日本の政治は大企業だけだったのか！」と怒りが渦巻くなかで申告。



3・13重税反対板橋区民総決起集会の後、230人でデモ行進、沿道から盛んに激励も寄せられました



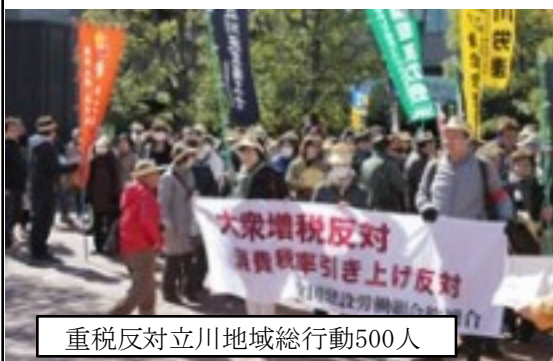
八王子駅近くの船森公園で重税反対決起集会2百人が参加。甲州街道を「重税反対、消費税10%許すな」と子安公園までデモ行進。



青梅市民会館大ホールで4百人の決起集会。青梅税務署に向けてデモ行進して、集団申告しました



足立は千住と西新井の2カ所で決起集会。「変えよう中小企業つぶしの政治」のスローガンを掲げてデモ行進。写真は西新井中郷公園



重税反対立川地域総行動500人



東大和の会も参加して多摩教育会館

消費の落ち込みは過去最高！

消費税10%増税なんてとんでもありません

労働者の現金給与総額は17年で12%も減少

5億円以上の金融資産を保有する富裕層は全世帯数の0・1%

2015年度世界長者番付で今年の日本人リストのトップはユニクロ柳井会長。資産は2兆4千億円。13年から2年間で1・6倍に拡大しました。

野村総研の調査では5億円以上の富裕層の金融資産は、13年には73兆円、2年間で1・9倍に。全世帯数に占めるこの富裕層の割合は0・1%。「富裕層の金融資産が増えたのはアベノミクスによる株価上昇がもたらしたものと指摘しています。」

一方で厚生労働省が発表した14年12月生活保護世帯は16万1千819世帯、20年間で2・7倍です。わずかな富裕層と貧困層の拡大の進行です。

消費税を導入・増税した後の消費の落ち込みは、総務省統計局が発表した家計調査で一世帯当たりの消費

支出は昨年4月の増税後が最悪になっています。国民の所得が減り続ける中での消費税増税は、導入時、前回増税時と比べても、家計により深刻な打撃を与えています。

厚生労働省の統計では労働者の現金給与総額は1997年をピークにほぼ毎年減り続け、2014年には97年より12%少なくなっています。

福島県の「なくす会」のアンケートで、原発で避難した人が「年金が少なく、物価高、医療、介護が悪くなるばかり、原発をつくった自民党は大企業ばかり優遇、仕事もなく、福島にも帰れず、何人もの同級生が自殺した」と答えています。

労働者の働きで貯めこんだ302兆円もの内部留保、この大企業に1・6兆円もの法人税減税の大盤振る舞い。戦後最悪の安倍内閣に重税反対統一行動で迫り、いっせいで地方選挙で増税反対勢力の大躍進で退陣を！

とんでもない景気案項(8条3項)削除

東京選出衆院財務金融委員に反対を要請

今国会に「所得税法の一部改正する法律案」が提出されていますが、この法案には10%を「確実に実行する」とことを明言し、重大なのは消費税法附則18条3項が削除されていることです。その時期に景気がどうであろうと10%を断行するということです。



JR東鴨駅なくす会定例宣伝

「景気が回復しないのに増税とは何だ！」と与党内からも怒りの声が上がっています。衆院財務委員会では議論されている3月9日、「消費税をなくす東京の会」は、東京選出の衆院議員で財務金融委員(宮本徹・共産、鈴木隼人、土屋正忠、山田美樹・自民)に「消費税増税法の景気案項の削除に反対するよう」要請文を提出しました。14年4月

からの消費税8%への大増税強行で国民生活は深刻な増税不況と物価高で一段と厳しくなっています。景気が回復しなくても何が何でも10%にするという安倍首相は、大企業が栄えればよく、国民の暮らしは一考だにしない姿勢があります。

確定申告会場に小学生税の標語

優秀賞は全部消費税に特化

◎練馬税務署長賞

いい社会

みんなで支える消費税

◎練馬間税会優秀賞

子育ても

介護も支える消費税消費税支えられている

未来の日本を支える消費税

(練馬区Kさん)

166481名の署名を提出 国会要請行動

「消費税をなくす会」も参加する消費税廃止各界連絡会は3月4日、国会はじめて166481名分の「10%増税反対」の署名を提出しました。安倍政権が2017年、10%の増税と「景気対策」を削除して実施を狙っていることへ「安倍政権倒れへのたたかいを！」の声も出ました。

「消費税10%増税中止を」の願いを届けてきました

米価暴落で水よりも安いお米
この日衆院第2議員会館で開かれた集会では各団体の活動が交流されました。

千葉県の代表は「農家は米価暴落と資材の高騰で一本120円のペットボトルの水に変わってお米を注ぎ込んでも60円にしかならない」と衝撃的な発言も飛び出しました。また埼玉土建の代表は「8%の増税で滞納者が増えている。暮らしと営業を守るため力を合わせて増税を断固阻止しよう」と訴えました。



みなさんの集めた署名を託しました

全国の会常任世話人の梅村さんをはじめ7人が参加、皆さんの集めた署名を託しました。

暮らし破壊の増税は絶対許せない！ 消費税廃止を求め、国会に署名を提出

消費税廃止文京各界連絡会と文京春闘共闘会議は、2月25日、文京区民センターで「消費税増税をストップするために！消費税増税反対学習決起集会」を開きました。

安倍首相は「アベノミクス、この道しかない」と消費税10%への引き上げ、社会保障の切り捨て、働くルールの改悪で国民の暮らしを破壊している。大企業や戦争準備のための消費税増税を許していいのか？、増税をストップさせることができるのか？、疑問や不満が出されているなか、「消費税をなくす東京の会」の林事務局長を迎えて学習。しつかり学んで疑問や不満を怒りに変えて地域から消費税増税中止



の声を上げてゆこうと決意、文京民商、新婦人文京支部、東京保健生協が決意表明し、今後の行動提起を確認しました。

沖縄新基地建設反対 パット野古応援とヘリ 高江」住民支援ツアー

第12回税のムダづかいウォーキングツアーの帰りの車中で参加者の中から「ぜひ沖縄支援を企画してほしい」と要望が出されました。常任世話人会議で「希望者だけを募って参加を」ということになりました。

日程と企画が決まりましたのでお知らせいたします。

- 募集人員が35名なので定員になり次第しめきります。
- 日時 6月4、5、6、7日
- 3泊4日、朝3食、昼3食、夜2食
- 費用 8万8千500円
- 集合 羽田空港 朝7時15分
- 締切 2015年5月15日

に使うお金がどうしても優先してしまうのだ。

二つ目は、消費税の増税と円安で、仕入れなどが値上がりしていることにある。少し規模の大きい中小企業の場合、コンビニなどの看板を作成しているA社の売上と材料費（鋼材費）を消費税増税前と増税後と比較してみた。二〇一三年度の売上高は2億9630万円に対し材料費は8830万円（売上の29.8%）、2014年度の売上高は2億9282万円に対し材料費は9747万円（33.3%）と材料費の割合が大幅に上昇、前年並みであれば材料費は1000万円少なくて済んだ。A社の利益は945万円から349万円に落ち込んでいる。従業員25名ほどの中堅企業では一定の利益を確保しないと資金繰りができなくな

る。A社は金融機関からの返済金を1年間ストップし、今は本来の返済額の四分の一だけ支払っている。

三つ目は消費税の納税問題である。小さなパンの製造小売業のD社の実態を見てみよう。2014年度の売上高は1138万円、利益は4万6千円、消費税の納税額は16万2600円。2015年度の売上高は1126万円、利益は113万6千円、消費税の納税額は22万1500円。売上げが減ったにもかかわらず納税額は三十六%増えている。いざれ多くの零細業者の消費税納税額が1.6倍となる。

支払えなければ「滞納者」というレッテルが貼られ、差し押さえが待っている。消費税10%などともなないことである。

消費税増税で三重苦の中小業者

大田の会事務局長・税理士 篠正隆

昨年4月1日、国民の反対を押し切り安倍内閣は消費税の8%への増税を実施、その結果、4月から今まで景気が悪化し続けている。その原因の一番は消費購買力が大きく落ち込んだことにある。

増税後、中小業者は三重苦に陥っている。その原因は消費税が天下の悪税と言われる、その仕組みにある。

消費税を直接税務署に納めるのは事業者である。消費税法で「第5条（納税義務者）事業者は国内において行なった課税資産の譲渡等につき、この法律により消費税を納める義務がある」と決められている。

事業者には年商1000万円余りの八百屋さん、パン屋さんから年商1000億円、1兆円という超大企業まで様々である。超大企業は簡単に税務署に納める消費税を価格の一

私が良く乗る大森から御徒町までのJR運賃は3月31日までは210円であったが、4月1日から216円となった。消費税3%分が上がったように見える。ただし、スイカを使った場合である。現金だと220円。税金であれば金額が異なること

一つ目は、中小業者も地域で生活をしている消費者である。消費税の六〇%もの増税で物価は高くなり、なかなか利益が生み出せない中小業者は、賃金の下がり続けている労働者以上、生活費にお金をまわすことができない。悲しいかなお店のため

CHIHIRO CALENDAR

いわさきちひろカレンダー

世界中のこども みんなに
平和としあわせを

このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。

いわさきちひろ作品普及会